

10 時間飛行経歴認定研修 「ドローンフライト研修会」(案)

研修の概要・目的

建設業の就業者数は減少を続けており、今後、現場の労働力が減少傾向であることを考えれば、建設現場の生産性向上は、避けることのできない課題である。

一方で、激甚化する災害に対する防災・減災対策や老朽化するインフラの戦略的な維持管理・更新、そして強い経済を実現するためのストック効果を重視したインフラの整備や生産性の向上等建設産業には、安全と成長を支える重要な役割が期待されている。

国土交通省では、従来より「情報化施工」を掲げて様々な検証・試行事業に取り組んでおり「i-Construction」の取組みの一つである、ドローン(無人航空機)等の幅広く技術の活用を進めている現状をふまえ、今回独自のプログラムでドローンの操作技術はもとより、飛行計画書作成事例の研修まで一気に学び、10 時間飛行訓練経歴の認定書発行までを研修内容とし、研修終了後、各企業における技術力向上と生産性向上に繋がることを目的とする。

研修プログラム

1. 航空法関係法令・安全飛行に関する知識
2. 専用の操縦場での練習用ドローンの操縦(マンツーマン指導)
3. 機器や周囲への安全確認能力
4. GPS に頼らない操作技術の習得
5. 安全で適切な自動操縦技術の習得
6. 飛行申請書の記入指導
7. 国土交通省の事例に基づく操縦・空撮指導
8. 10 時間飛行経歴の認定書発行